

風景構成法の基本的な「読み方」

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 間：2022年3月9日(水)、3月12日(土)のどちらかのご希望日

※ご希望日を必ず通信欄にご記入・ご入力ください

受講対象：心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、
およびご興味のある方

申込期限：2022年3月2日(水)

(お申し込みは先着順となりますが、期限前に募集を終了する場合がございます。)

受講料：6,500円(税込み)

配信方法：『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

☆☆☆ご企画・講義☆☆☆

学習院大学文学部 教授 川崎 克哲 先生

風景構成法は中井久夫と河合隼雄という二人の希有な心理療法家の出会いから生まれました。それは、河合先生の箱庭療法の講演からヒントを得た中井先生が発案した非常にすぐれた心理アセスメント法でありかつ心理療法の技法です。実際、風景構成法はクリニックや教育相談所、児童相談所、学校現場などで広く実施されています。広く使用されている要因のひとつは、施行法がとてもシンプルであることでしょう。画用紙にひとつひとつ提示される項目に従って風景を描いていく。ただ、これだけです。この一見単純に見える描画のプロセスの中に、描いた人をアセスメントする、ひいては治療を促す力が含まれているわけです。このようにシンプルに実施することができ、すぐれて治療的な力をもつ風景構成法ですが、それでは実際に描かれた絵をどのように「読み」、治療に活かすのかという点になると多くの方にとって「よくわからない」というのが偽らざる現状ではないでしょうか。もちろん、風景構成法を含む描画や箱庭、夢、ひいては心理療法そのものに「マニュアル」といったものはありません。しかし、それらに対してどのように「読ん」でいくのかという「視点」はあるはずで、またあらねばならないと思っています。本講座で言う「読み方」とはこのような意味での「視点」のことです。本講座では、具体的な描画を素材にしつつ、風景構成法の基本的な「読み方」を検討していきたいと考えています。4時間というきわめて短い講義時間ですので、真に「基本的」なレベルの内容になるかと思いますが、「基本的」であるからこそ、他の描画や箱庭、さらには対話を中心としたカウンセリングにも応用が利く内容となると期待しています。

【企画講師 川崎 克哲】

【プログラム】

	時間	テーマ
各 日	12:50~	オンライン講座 事前説明
	13:00~14:00	~風景構成法の「読み方」の実際(具体的な素材を用いて)~
	14:10~15:10	~「読み方」を少々理論化、普遍化してみる~
	15:20~16:20	~神経症圏の風景構成法を「読む」視点(「田ショック」を中心に)~
	16:30~17:30	~非神経症圏の風景構成法を「読む」視点(精神病圏、発達障害を例に)~

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。